

多くの意見を提案し

令和2年度予算可決

令和2年第1回定例会を3月5日から13日までの会期で開きました。
 今回は、令和2年度の当初予算をはじめ、条例の制定や改正、補正予算など、提出された27の議案を慎重に審議し、全て原案どおり可決しました。このうち、予算の大部分を占める令和2年度一般会計予算は、50億2989万円と昨年度に比べ5%の増となりました。

歳入は、町民税等の減収が見込まれ、財政は依然厳しい状況にあり、財政調整基金、復興交付金基金などからの繰り入れにより財源の確保をしています。

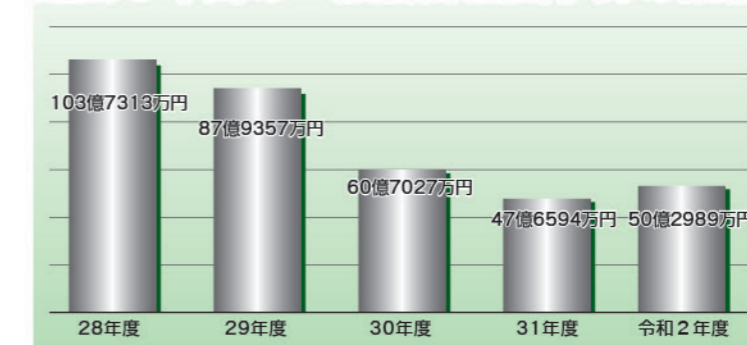
歳出面では、前年度に引き続き、復興・創生への取り組みを最優先として財源の重点的配分に努めた予算編成となっています。

令和2年度各会計当初予算額

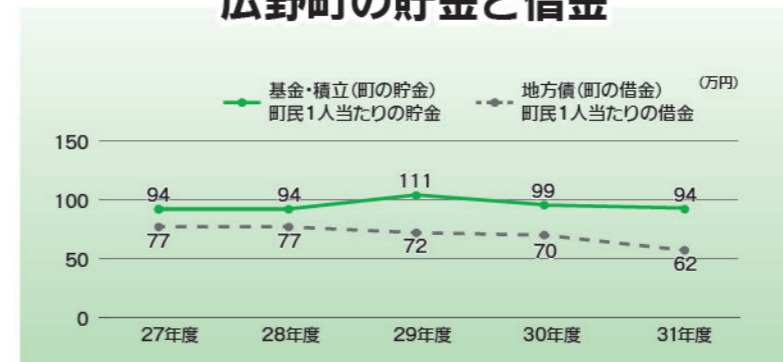
会計名	令和2年度	前年度比
一般会計	50億2989万円	5.5% ↑
特別会計	国民健康保険	8億8786万円 4.4% ↓
	土地開発事業	7506万円 73.9% ↑
	公共下水道事業	2億4299万円 1.3% ↑
	農業集落排水事業	4921万円 56.5% ↑
	介護保険	5億8752万円 11.9% ↑
	後期高齢者医療	1913万円 19.8% ↑
合計	68億9166万円	5.2% ↑

※千円以下切り捨てのため実際の金額とは一致しません。

過去5年間の一般会計歳出予算の推移



広野町の貯金と借金



※算定基礎数値
 基金現在高：44億8170万円
 地方債現在高：29億7849万円
 3月末の人口：4755人

行政の格差をなくすために国が交付する地方交付税など

